

# ほっとハッと通信

柏子どもの文化連絡会

2020.5月

2020年5月23日発行 NO.222  
発行者 柏子どもの文化連絡会

## 柏子どもの文化連絡会 新年度スタート

### 再びたくさんの笑顔に出会うために

2020年度は重苦しい空気と混乱のスタートとなりました。私たちの暮らしを支えるために今も最前線で働くたくさんの方々に心から感謝申し上げます。

柏子どもの文化連絡会では、新年度定期総会開催を見送り、書面での議決とさせていただきます。

会員の皆さん、ご理解と協力をありがとうございます。直に顔を合わせた意見の交換ができず残念でしたが、あたたかい励ましのメッセージとともにすべての議案に対し過半数以上の賛成をいただきました。

しかしながら、すでに今年度の活動に影響が及んでいます。5月に開催を予定していた「第23回増尾のもりでいっしょにあそぼう！」はやむなく延期（日程未定）となりました。居場所事業の「The みんなのひろば」は6月まで中止となりました。「楽しみに遊びに来ていたみんなは元気にしてるかな〜？」子どもたちの顔が浮かびます。

また、今年度の「第26回柏市おはなし会S' わくわく人形劇まつり」は来年1月の柏市中央公民館リニ



ーアルオープンに合わせての開催を予定していますが、状況によっては変更の可能性もあります。

今、当たり前のように活動してきたことができなくなったことで、あらためて「つながる」ことの大切さを感じています。会員はもちろん、応援してくださる地域・協賛者のみなさまとのつながりの中から、笑顔がうまれ、活動のパワーがみなぎるのだと実感しています。

落ち着いた日常に早く戻れることを願い、再びたくさんの笑顔に出会うために「今できること」にしっかり取り組み、歩みを進めていきます。今年度もどうぞよろしくをお願いします。

柏子どもの文化連絡会 会長 鈴木典子

### 《柏子どもの文化連絡会って?》



#### 会員を募集しています

1994年発足。人と人のつながりの中で子どもたちの心が豊かに育ってほしいと願って活動しています。

2011年度には、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣より表彰を受けました。

#### ★現在の主な活動★

- ・「柏市おはなし会S' わくわく人形劇まつり」
- ・「増尾のもりでいっしょにあそぼう！」
- ・小学生以上の子どもの居場所「The みんなのひろば」
- ・会報「ほっとハッと通信」発行
- ・障がいのある子どもたちへの情報紙「るって!」発行
- ・講演会などの企画

子どもや子育てに関わる活動をしている方や、活動に参加してみたい方大歓迎です。事務局までお問い合わせください。

《2020年5月現在の会員数/団体 12・個人 58・賛助2》

事務局  
携帯 090-7708-0691  
Fax 04(7108)1771  
E-mail

kashiwakobunren@gmail.com  
URL <http://kashiwa-kobunren.jimdo.com/>



# 会員に聞く「いかがお過ごしですか？」

4人の方におたずねしました。

## 永田明德さん

大変な事になりましたね。イベント、防災訓練中止、公園花壇の作業も無くなり、NPOの総会開催も一苦労、進行中のプロジェクトも中断、これは災害ですね。でも、ポジティブで有りたいと思う私です。コロナと闘っておられる方には申し訳なく思いますが、stay homeを有意義に過ごしたいと思っています。庭に敷石を詰め、雑草を生えにくくしました。花の鉢も増やし庭には50種類くらい有ると思いますが、今、花盛りです。パステル画を描いたり、寄せ植え教室に行ったり、それなりに楽しんでます。早く平常に戻ることを祈りつつ。



## 井上啓子さん

家に居るのが大好きだ。この頃は買い物にも行かず日々家の中でゴソゴソしていられて、すこぶる快適である。毛糸やら布地やらの棚卸しをして、すっかり忘れていた流行遅れの高級品を発掘したり、時間を気にせず型紙の改良をしたりするのも楽しい。窓から見る外の景色は晴れやかで風は心地よく、空気がなんとなくキレイなようで、以前より遠くのビルまで見えるのも良い。町が静かで、鳥の声がよく聞こえる。夕焼けも、虹も、東の空の満月も、今までに見たことがないような色に見える不思議。疫病が有ろうが無かろうが日々は世界は美しいのだ。だがしかしそれでも、今のこれを、そんなことがあったねと、言いあえる日を待っている。毎日待っている。



## 荒井美佳さん

自粛生活に入り、私自身も職場が休園しているの、休職中。おもちゃ図書館も閉館しています。こないだあまりにもやる事がなく、天気が良かったので、預かってるおもちゃを庭に広げ、除菌スプレーをかけ天日干ししてみました。



普段は娘とふたりで過ごすことが多く、午前中は娘の勉強をみたり、教材を製作したり、溜まっていた本を読んだりして過ごしてます。午後はマスクをしながら親子でサイクリングで運動不足を解消してます。今一番はまっているのがゲームの「あつ森」です。親子でどういう島にするかを相談しながら…。あとは甥っ子姪っ子になかなか会えないのでビデオ通話で話したりしてます。

早く終息(収束?)して仕事もおもちゃ図書館も始まり、子どもたちとおもいきり遊びたいです。

## 山田早代さん

PTA、2月LINEでの会議は大変だった。3月緊張しながら初ZOOM。4月背景やチャット使用。5月顔出し・声だしNGの講義形式では新たな可能性を発見。おばさんにもノビシロあったとお～。



人体交響劇のリモート活動では、一緒に歌ってみんなで朗読。折り紙教室、ジェスチャーゲーム、かるたまで。小中学生の発想力と集中力を引き出すチューターに敬服。

家族も在宅勤務やオンライン授業と、長期化する巣籠もり生活の中でそれぞれに変革。アポなしビデオ電話テロには要注意！最前線の医療従事者の皆様には心より感謝申し上げます。1日も早い収束を願い。今日も娘と動画 de ダンス！汗だく筋肉痛の日々。

## 藤田浩子の 少し昔のこと 〈62〉

### 不自由な生活

新型コロナというウイルスがはびこり、2月末から私たちの生活も、あれこれ制限されました。マスクをしろ、移動するな、居酒屋などに立ち寄るな、これは国からの「命令」ではなく「要請」ですけど、それが命令になったら恐ろしいと思います。さすが平和社会だけのことはある、多少とんちんかんなところがあるにしても、お金やマスクを配ろうと支援の姿勢だけでも見せています。医療関係の方々のご努力もあり、ウイルスに感染すればとりあえず入院できます。その安心感だけでも、戦争中とは違います。

もしこれが戒厳令の敷かれていた戦争中だったら、と思うとぞっとします。マスクをかけないでいたら非国民として捕まってしまうでしょう。3人5人集まって安倍さんの悪口を言ってい



ば、特高（特別高等警察）が来て、思想犯として牢屋に入れられるかもしれません。パーマントをかけた女性やもんぺをはいていない女性は、国のお先棒担ぎの翼賛婦人会のおばさんたちに叱られた時代です。そもそも立法も行政も司法も、軍の思うままになっていた時代ですから、国に逆らうというより、軍に逆らうことになるのです。

空襲警報のサイレンが鳴ったら、子どもはみんな防空壕（地面や山の斜面に掘った穴）にはいらなければなりません。「空襲警報解除」の知らせがあるまで、いつまでも防空壕にいななければならなかったのです。中学生は軍需工場で仕事をさせられました。大黒柱の父親が兵隊に召集されたら、家族が生活できようができまいが、すぐに出征（戦地に行くこと）しなければなりません。戦争になったら、不自由さも死の恐怖も今の何倍にもなります。コロナ騒ぎで、戦争への道を作ってはならないと強く思いました。

### リレー連載 <195>

## わたしの大好きな絵本

栗原 佐世子（大学職員）

### 『きょうはなんのひ？』

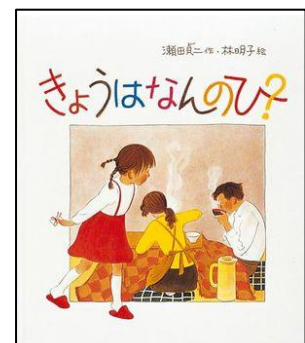
作： 瀬田 貞二

絵： 林 明子

福音館書店

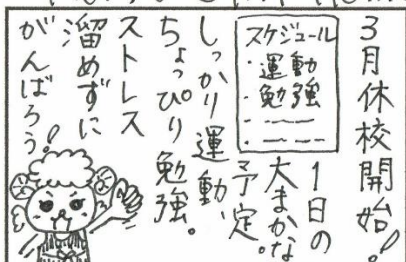
子どもの頃から本を読むこと以上に、本棚に並んでいる本を見ることが好きだった。カラフルな絵や文字、大きささまざまな本の中から自分好みの1冊を見つけることが楽しかった。なかでも「きょうはなんのひ？」は、見つけた時の喜びと言い、今でも特別な1冊だ。小学生の女の子が両親の結婚記念日を祝う物語だが、何とも粋な方法でおめでとうを伝える。子どもの純粋さ、夫婦の交流、家族の温かさが見事なまでに書かれていて、子どもも大人も楽しめる完璧な1冊だと思う。

そう言えば、よく母の横でこの本を読んでいた。ページをめくるたびに「ここ、ここ、ここ見て！」と湧き上がる熱い想いを伝えていた。忙しい母だったがそのたびに「うんうん」と私の話を聞いてくれていたことを今になって思い出した。先日、本を片手にそのことを母に話すと「そうだったっけ？」とまさかの一言。はて、これは私の記憶違いか、美化された思い出か…でもまあどちらにしてもずっと残していきたい大切な1冊である。



ε> β<sup>00</sup> A 0000 A <3  
 ε> フアミイ - <3

No. 70 STAY HOME



パレは毎日出勤がんばっています。ユルユルもダラダラもメリハリも、今皆それぞれにがんばっていますね！皆さんに拍手~!!! Lady Mama

### 《運営委員会報告と経過報告》

運営委員会報告に関するご質問・ご意見は事務局 090-7708-0691  
 Fax 04-7108-1771 (鈴木) まで

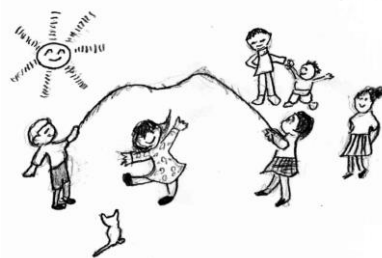
次の定例運営委員会は調整中です。

- 【事務局】・3/12 運営委員会 3名 総会資料最終確認
  - ・3/25 総会資料印刷発送作業 5名
  - ・4/11 書面表決結果まとめ
  - ・4/19 議決結果とかわらばんを会員へ郵送 (活動関係)・みんひろ 3~6月中止・はぐはぐ☆子育て応援フォーラム 柏 2020 中止・今年度協賛まわりについて他
- 【増尾のもりでいっしょにあそぼう!】・5/17 開催中止 関係各所への連絡 (開催時期を探る)
- 【第26回 柏市おはなし会 S' わくわく人形劇まつり】・4/8 中央公民館に確認・2021年1月公民館リニューアルオープンに合わせて開催する方向で⇒参加関係団体・個人に連絡
- 【広報委員会】・4月ほっとハット通信発行中止・5/3 ビデオ電話にて5月 Web 版通信会議⇒5/20 目途に Web 版アップ
- 【福祉委員会】・小中学校及び支援学校休校とイベント中止のため「るって」3~5月発行中止

### 《こちらほっとハット通信局 special》

「ほっとハット通信」3月号を発行した頃から立ち込め始めた暗雲。3ヶ月近くにも及ぶ経験したことのない生活。ここへきて、ほんの少しだけ光も見えてきた。医療関係者の皆さん、生活を維持するために必要な職種に携わっている方々への感謝の一方で、働けない人たち、職を失ってしまった人たちにも心を寄せたい。大人も子どもも我慢と共に、できることをやろうと頑張っている。不安と苦悩といらだちに苛まれながらも、頑張っている。そんな中、子どもたちの遊具はロープでぐるぐる巻き。子どもたちに自由が戻ってくることを心待ちにしている人も多はず。

今の一人一人の経験が、この先の不安を乗り越える道しるべとなることを信じたい。



### 《こちらほっとハット通信局》

次号(NO.223)は6/11(木)発行予定です。情報など5/31(日)までにお寄せください。

♥いつも印刷作業をさせていただいている沼南社会福祉センターが使いなくなり、やむなく4月号は休刊にしました。さて5月号はどうしよう。連載の原稿は届いている。地域のイベント情報はまだお届けできないけれど、お家で過ごしている皆さんに読んでいただけたら…ということでweb版のみ発行としました。急なお願いに原稿やイラスト、4コマ漫画を寄せてくださった皆さんに心から感謝します(ひび)

♥広報委員会、久々の顔合わせは、顔出しライン電話。もちろん、お初。動画が突然、静止画になったり、声が遅れて聞こえたり(いっこく堂か?!)。次々起きるハプニングに話の腰を折られながら、爆笑しながら、何とか会議らしい話もできました。これ…くせになるかも(maruaji)



★今月のカット: 田川芳恵さん  
 ☆「藤田浩子の『少し昔のこと』」カット: 門井すみ子さん